

2017年4月で熊本地震発生から1年を迎えます。2度の震度7を観測した地震により、熊本のシンボルである熊本城は大きく傷つき、数多くの文化財が甚大な被害を蒙りました。

永青文庫は、肥後熊本54万石を領した細川家に伝わる文化財を保存・公開している美術館であり、熊本とは強く深いつながりを持っています。熊本城に焦点をあてた本展では、当館が所蔵する史料や美術工芸品等を通して、熊本城と細川家の歴史・文化を振り返ります。

加藤清正が築き、細川忠利入城以来240年細川家が守り伝えてきた熊本城の勇壮な姿。忠利が客分として招いた宮本武蔵。繰り返された熊本城の被災と普請。参勤交代で使用された御座船・波奈之丸など、熊本城にまつわる歴史を多方面から紐解きます。

熊本への理解をさらに深めることが、復興支援の一助に繋がるとの願いを込めて、地震から1年に合わせ開催いたします。



赤星閑意筆「熊本城之図」 明治時代(19世紀) 永青文庫蔵(熊本大学附属図書館寄託)【前期展示】

■ 開催概要

展覧会名: 熊本城—加藤清正と細川家—

会 期: 2017年3月18日(土)～6月4日(日)

前期:3月18日(土)～4月23日(日)／後期:4月25日(火)～6月4日(日)

※前期と後期で一部展示替えを行います。

開館時間: 10:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日: 毎週月曜日(但し3/20は開館し、翌日休館)

会 場: 永青文庫

入 館 料: 一般800円(※700円)、シニア(70歳以上)600円(※500円)、大学・高校生400円、中学生以下無料

※は10名以上の団体料金。障害者手帳をご提示の方およびその介助者(1名)は無料。

【本展と関連した展覧会のご案内】

同時期に、熊本県や東京都内各所で、震災をテーマにした展覧会や、熊本を応援する展覧会が開催されます。

●熊本県立美術館「震災と復興のメモリー@熊本」

2017年4月14日(金)～5月21日(日)

* 永青文庫所蔵品を出品

* 熊本への関心を改めて喚起するため、コラボらしを作成

●東洋文庫ミュージアム「安政の大地震 大災害の過去・現在・未来」

2017年4月19日(水)～8月6日(日)

* 永青文庫からバス一本で行けるミュージアム

* 相互割引を実施(半券・レシート提示で100円引きに)

●日本橋高島屋「熊本復興祈念展 熊本城と加藤清正・細川家ゆかりの品々」

2017年4月12日(水)～4月24日(月)

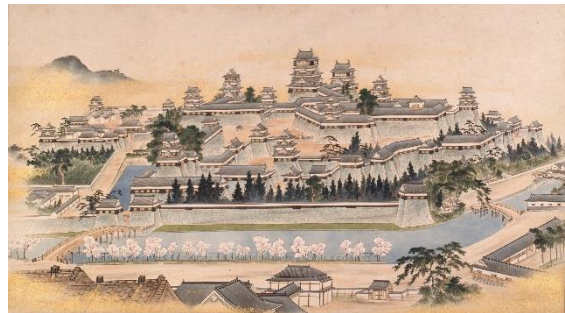
* 永青文庫所蔵品を出品

* 相互割引を実施(半券提示で100円引きに)

1. 絵図・絵巻・古写真から見る熊本城

加藤清正が築いた難攻不落の熊本城はどんな城？

熊本城の雄姿を描いた絵画や、城内の各曲輪の様子が分かる絵図、また、江戸時代の城郭の雰囲気や留めた明治初期の古写真などから、在りし日の熊本城の姿を追います。



「熊本城図」明治時代(19世紀) 永青文庫蔵【後期展示】

2. 加藤清正・忠広から細川家へ

清正・忠広と二代続いた加藤家から、肥後の統治を受け継いだのは、細川家三代当主忠利。

入国を果たした忠利が抱いた熊本城の印象とは？清正と忠利に関連する古文書や美術品を展示します。



「菊桐紋蒔絵螺鈿徳利(加藤清正所用) 桃山～江戸時代(16～17世紀) 永青文庫蔵

「紫糸素懸威鉢巻形兜(細川忠利所用) 江戸時代(17世紀) 永青文庫蔵(熊本県立美術館寄託)

3. 細川家初代熊本藩主・細川忠利と宮本武蔵

忠利によって細川家の客分として招かれた宮本武蔵。

熊本城の北東に位置する千葉城跡に屋敷が与えられました。

重要文化財に指定されている武蔵の絵画などを公開します。



矢野三郎兵衛吉重筆 沢庵宗彭賛 「細川忠利像」寛永18年(1641) 永青文庫蔵【前期展示】



重要文化財 宮本武蔵筆「鶴図」江戸時代(17世紀) 永青文庫蔵(熊本県立美術館寄託)【後期展示】

4. 被災を繰り返してきた熊本城

熊本大学文学部附属永青文庫研究センターや熊本市熊本城調査研究センターの調べにより、熊本城は何度も被災を繰り返してきた過去があることが分かりました。相次ぐ余震に忠利は、「本丸は庭がなく危ない！」と感じ避難。その様子を伝える史料などから江戸時代における地震と普請の歴史を振り返ります。

5. 熊本城内で地震に耐えた波奈之丸

細川家が参勤交代の際に使用していた御座船、波奈之丸。屋形部分が現存し、「細川家舟屋形」として重要文化財に指定されています。平成28年熊本地震が発生した際、この船は熊本城の天守閣内にありました。展示では、波奈之丸を描いた絵画や参勤交代にまつわる作品をご紹介します。



橋本又左衛門筆 「御船賦之図」明治時代(19世紀) 永青文庫蔵

6. 熊本城十八間櫓に眠っていた九曜紋の工芸

熊本城十八間櫓には、かつて細川家の様々な調度品が保管されていました。現在これらは熊本県立美術館に保管され、今後の研究や一般公開に活かすことを目的として、調査が進められています。展示では、調査の終了した調度類のうち、細川家の家紋である九曜紋の入った工芸品をご紹介します。

【お問い合わせ】

公益財団法人 永青文庫

〒112-0015 東京都文京区目白台1-1-1 TEL: 03-3941-0850 FAX: 03-3943-0454

平成29年春季展「熊本城—加藤清正と細川家—」 広報画像申請書

2017年3月18日(土)～6月4日(日)

前期:3/18～4/23 後期:4/25～6/4

貴社名:

媒体名:

ご担当者名:

ご所属:

TEL:

FAX:

ご住所:

E-mail:

掲載予定日: 年 月 日

掲載概要:(コーナー名、画像の掲載サイズ など)

◆ご希望の写真番号に○を付けてください。



1 赤星閑意筆「熊本城之図」明治時代(19世紀)
永青文庫蔵(熊本大学附属図書館寄託)【前期】



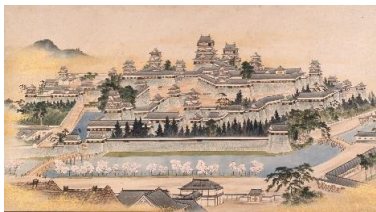
3 「細川忠利像」
矢野三郎兵衛吉重筆 沢庵宗彭賛
寛永18年(1641) 永青文庫蔵【前期】



4 「細川忠利像」
海門宗音賛
江戸時代(18世紀)
永青文庫蔵【後期】



5 重要文化財
宮本武蔵筆「鶴図」
江戸時代(17世紀) 永青文庫蔵
(熊本県立美術館寄託)【後期】



2 「熊本城図」明治時代(19世紀)
永青文庫蔵【後期】



6 「部分御旧記 災変部」江戸時代
永青文庫蔵(熊本大学附属図書館寄託)



7 「紫糸素懸威鉢巻形兜
(細川忠利所用)」
江戸時代(17世紀)
永青文庫蔵
(熊本県立美術館寄託)



8 「菊桐紋蒔絵螺鈿徳利
(加藤清正所用)」
桃山～江戸時代(16～17世紀)
永青文庫蔵



9 橋本又左衛門筆「御船賦之図」
明治時代(19世紀) 永青文庫蔵

【広報画像ご使用に際してのお願い】

※写真の使用は、本展覧会のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。

※展覧会名、会期、会場、作品名称、所蔵者を必ずご掲載ください。

※掲載誌は1部ご恵贈願います。

【個人情報の取扱いについて】

※ご記入いただきました個人情報は、当館からの展覧会情報のご案内にのみ使用いたします。

許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。